



小樽ロータリー

クラブ会報

10 No.3930
創立1933.12.12

2014～2015年度 RI会長 ゲイリー C.K. ホアン(黄其光)

例会場：グランドパーク小樽
例会日：毎週火曜日12時30分
事務所：小樽市築港11番3号
http://www.otaru-rotary.net/
発行日：2014年9月9日



2014-15年度
国際ロータリーテーマ



今日のプログラム

「青少年奉仕に輝きを…」
RI第2510地区青少年奉仕委員会 委員長 出村知佳子 様

第9例会記録 2014年9月2日

■ロータリーソング「四つのテスト」

■ゲスト紹介

NPO法人OBM 理事長 伊藤 正明 様
米山記念奨学生 王 力勇 君

■ビジター紹介

白石 享一 様 (小樽南RC)

■会長報告 (坂田会長)

- ・2015年のサンパウロ国際大会の開催が6月6日(土)～9日(火)に変更になりました。
- ・潮まつり実行委員会、杉江実行委員長より参加のお礼と、来年もよろしくとのお礼状が届いております。
- ・8月29日(金)、遠藤社会奉仕委員長と小樽南RCを訪問し、あらためて潮まつり参加のお礼と合わせ来年への参加のお願い、9月17日(水)のチャリティーコンサートへの参加をお願いして参りました。
- ・ガバナ一月信に、小樽潮まつりのねりこみへの参加が大きく写真付きで掲載されました。また、米山記念奨学生 王力勇君の「感謝の気持ち」という文章も載っております。
- ・7月の出席率は、小樽RC85.00%、第6グループ平均82.77%地区全体が86.16%でした。
- ・エバンストンから会員増強に功績があった遠藤友紀雄会員にバッジが届いております。

■幹事報告 (秦幹事)

- ・米山記念奨学生 王力勇君に坂田会長より奨学金を授与します。
- ・先週に続き、潮まつりの写真を回覧しております。A4サイズ希望の方はお名前の横にA4と書いて下さい。
- ・例会変更
小樽南RC 9月19日(金)は夜間例会
点鐘：午後6時 場所：ハオ
- ・2013年度版の手続き要覧に変更がありました。詳細については会報掲載に代えさせていただきます。
- ・故 坂口榮之助様を偲ぶ会の日程が届いております。10月15日(水)14時より龍徳寺第2会館で行われます。詳細につきましては後日ご連絡致します。
- ・本日例会終了後、Mテーブルにて理事会を開催します。

■委員会報告

●社会奉仕委員会 (遠藤委員長)

- ・ロータリーデーは9月13日(土)に変更になっていますのでご協力をお願いします。
- ・9月17日(水)、運河プラザ3番庫でチャリティーライブがあります。チケット代は財団に寄付されますのでご協力をお願いします。
- ・9月21日(日)、RIの補助金事業として、北海道千年の森プロジェクトに参加します。小樽奥沢水源地にて環境と防災に配慮した広葉樹の植樹祭、ホテルノルドにて講演会を行いますのでご参加をお願いします。

■その他報告

●野球同好会 (井上会員)

9月5日(金)～6日(土)、RI第2510地区親善野球大会を静内にて開催致します。応援を募っておりましたが、今回は

少数精鋭でまいります。

ご参加される方は5日(金)14時に旧グランドホテル前からバスが出発しますのでご集合下さい。

●ゴルフ同好会 (澤田会員)

10月20日(月)、第3回日本RC親睦ゴルフ全国大会が大洗ゴルフクラブにて開催されます。参加希望の方は澤田か平松までご連絡下さい。

■真心箱報告

- ・能島会員…誕生祝、今年傘寿を迎えました。
- ・加地会員…初孫が生まれました。女の子でした。
- ・上浦会員…9月1日協和総合管理ビル5Fに上浦歯科クリニックをRC皆様の力をお借りして無事オープンしました。ありがとうございます。
- ・熊澤会員…関係各位ご協力で、無事娘婿の上浦が新治療所開院出来ました。
- ・中野会員…昨日開院した上浦会員の上浦歯科クリニック。開業のお手伝いをさせて頂きました。ありがとうございます。
- ・金久保会員…「おたる街並みスケッチ大会」PRで、道新とSTVラジオに出させてもらいました。
- ・小松田会員…半年ぶりに出席致しました。大変ご迷惑おかけしました。これからもよろしくお願いします。
- ・秦幹事…①誕生祝。
②車を買って換えました。下取りの前日にバンパーをぶつけてしまいました。明日はきっといいことがありますように。

出欠調べ

(8月26日分)

1. 本日の欠席者 (17名)
石井 伸和、伊藤 保夫、海老名 健、海老名敏男、加地 幸広、小松田哲弘、菰田 尚正、佐藤 慶一、佐藤 正嗣、嶋田 秀人、土屋 大乗、花和 嘉貴、堀岡 秀之、榎谷 孝、村住 俊幸、山形 利夫、山崎 慎司
2. 本日の出席者 (会員76名中58名)
(出席規定除外者8名中7名出席)
3. 前々回(8月12日)の確定出席率(会員数76人)
(義務出席会員73名 出席64名 87.67%)
4. 前々回のメーキャップ
伊藤 保夫、澤田 忠宏、柴田 徳彦、半田 善行、船水 浩司 (以上クラブ行事)、宮本 孝雄 (樽南)

(9月2日分)

1. 本日の欠席者 (18名)
石井 伸和、泉 侑、海老名敏男、小野 晃裕、佐藤 慶一、柴田 徳彦、嶋田 秀人、武井 豊、田中 良和、花和 嘉貴、半田 善行、平松 正人、船水 浩司、船山 秀樹、星野 昭雄、堀岡 秀之、榎谷 孝、村住 俊幸
2. 本日の出席者 (会員76名中57名)
(出席規定除外者8名中7名出席)
3. 前々回(8月19日)の確定出席率(会員数76人)
(義務出席会員74名 出席66名 89.19%)
4. 前々回のメーキャップ
赤井 伸一 (クラブ行事)、伊藤 保夫、宮本 孝雄 (以上樽南)、遠藤友紀雄、杉江俊太郎 (以上地区会議)

前回のプログラム

「OBMと小樽観光戦略について」

NPO法人OBM (Otaru Branding & Marketing) 理事長 伊藤 正明 様

【講師ご紹介】(佐々木副委員長)

ちょうど2ヶ月前に北海道新聞に「観光振興は小樽で」という記事が掲載されました。要は横の繋がりをしっかりと観光を振興していきましょうという内容でしたが、その中心になって活躍されているNPO法人OBM理事長、伊藤正明様です。

昭和23年札幌市に生まれ、余市で育ち日本大学芸術学部卒業。昭和47年北海信用金庫に入職。昭和61年小樽支店、平成17年から19年迄小樽支店長、平成24年退職。現在NPO法人OBM理事長に就任されています。

【ご挨拶】

NPO法人OBM理事長の伊藤でございます。今日は伝統ある小樽RCの皆様の前で話をする機会を与えて下さいました事に厚く御礼申し上げます。今日のテーマであります、OBMと小樽観光戦略について、日頃から考えていることを含めまして皆様にお話することができればと、ここに参っております。

【組織概要】

最初に私が所属しておりますOBMについてご紹介申し上げます。正式名称は「特定非営利活動法人Otaru Branding & Marketing」、頭文字をとりましてNPO法人OBMとしております。設立の経緯ですが、小樽商工会議所のPJ(プロジェクト)チームの色々な活動がそもそもの発祥でございます。港湾振興PJ、農業・漁業の生産品を使った商品作りPJ、観光振興PJ等、小樽の将来に向けていろいろなPJを立ち上げ、検討・提言をしていました。

その中の観光振興PJが平成24年3月に提言書を作り、提言だけに終わる事無く実行できる組織にすることが検討され、平成24年11月末に北海道知事の認証を得て、正式に「NPO法人Otaru Branding & Marketing」が設立されました。

【基本的活動方針】

小樽観光戦略に関わるシンクタンク機能、及び観光関連団体等のコーディネート機能を担う為に小樽商工会議所、小樽観光協会、小樽物産協会等と連携をした中で小樽の現状と課題、観光振興の施策の検証分析を通して、新たな観光戦略の策定・具現化をはかる為の事業立案ならびに物産振興等、小樽観光のまちづくりの活動を実施することが基本的活動方針でございます。現在52法人の皆様が会員となっており、物心両面で支えられながらOBMとしての活動をさせていただいております。平成25年度におこなった大きな事業の1つは『北運河及び周辺地域の観光プラン』策定事業でございます。小樽市からの委託事業で、国の緊急雇用制度に関わる資金を使い、北運河周辺地域の観光戦略の策定を行いました。成果物として、冊子とDVDを今年3月末に小樽市に提出させていただきました。興味のある方は小樽市のHPを是非見ていただきたいと思います。

市民の皆様に見ていただいて、小樽の観光戦略について「皆様方どうですか」というような話をしていただければと思っています。

【クルーズ客船について】

OBMはクルーズ客船の事務局もやっておりますので、そのお話をさせていただきます。

今年はクルーズ船が30数隻も小樽に来る予定になっております。6月7日にダイヤモンドプリンセスという11万トン級の大型客船が入港した際には、勝納埠頭で「2014小樽クルーズ客船ウェルカムフェスタ」というイベントを開催しました。当日は5千人くらいの方が集まり、クルーズ船を見て「うわ、すごいな」と感じてくれたり、多くの乗客が下船して周辺地域に散ってゆく、その動きを見てクルーズ船への理解も深まったかなと思っています。このダイヤモンドプリンセスは寄港型といいまして、横浜を出発しぐると回って横浜に戻る客船で、今まで小樽には3~4回寄港しています。勝納埠頭からタクシー利用が最低150台、ピーク時で300台

位が市内へ走り、帰りも同じように戻ってくるので、タクシー業界の経済効果を押し上げています。また、市内の色々な所を見て買い物をする等で、寄港型クルーズ船の経済波及効果は非常に大きいものがあります。一方、サンプリンセスという客船は定点型といいまして、小樽発着の客船です。

この定点型は前泊・後泊によるホテルの経済効果、それよりもっと大きいのは、小樽での食材(野菜、果物、生鮮食料品等)の仕入れです。一年間で金額にすると何千万円もの仕入れがありますので、波及効果も非常に大きいといえます。

クルーズ船が入ることによりどれだけの経済波及効果があるかということを皆様も認識していただきたいと思っています。

【今後の観光戦略】

観光は非常に裾野が広い産業で、運輸業・旅行業等直接観光に関わる産業だけでなく、農業、水産業、食料品製造業、卸業、小売業等様々な産業が観光による消費という形で地域経済の活性化や住民の雇用につながる効果があると思っています。

小樽の人口も十年間で2万人も減少し現在12万5千人位です。観光によって増加に転ずる事は非常に難しいと思いますが、観光に関する産業の雇用によってある程度人口減を抑える状況もあると思います。

小樽市、商工会議所、観光協会、物産協会、OBMの5者の間で観光戦略会議を立ち上げ、来年2月に向けて最終的な観光戦略の策定をします。

観光戦略を策定し行動していく上で重要なことは、企業経営と同じようなコスト意識を持つ事と、無駄を徹底的に省く事によって最小の経費で最大の効果を発揮することであると思っています。知恵をしぼり、具体的な効果を発揮できるような創意工夫をしていくことが観光戦略の根底には必要ではないかと思っています。

俗に言われるPDCA(プラン、ドゥ、チェック、アクション)のサイクルをぐるぐる回し、その効果と課題を検証し、次に向かって改善し、観光戦略を策定していきたいと思っています。観光戦略策定の最終目標は観光関係の雇用機会の創出による人口減少の抑制です。

小樽市は人口が7万人まで減少した場合、住民サービスはもとより都市機能が大変なことになって、「え、こんなはずではなかった」という状況になると思われます。観光という切り口の中で人口減少を抑制できるという事を観光戦略会議の中で提言し、前へ進んで行きたいと思っています。

小樽市民として、郷土を愛する気持ちをもっともっと持っていきたいと思っています。皆さんは、運河クルーズ、観光船、人力車に乗ったことがありますか? 歩いているときと目線が違います。すると新しいことが見えてきて、自信を持って「小樽はいい所だよ、こんな所もあるよ」と体験を通して一人ひとりが観光の発信者となっていただきたいのです。この戦略プランの根底に流れているのは「シビックプライド」という考え方です。市民が自分の住んでいる街、エリアにプライドを持ち続ける。これが、次の観光戦略の基本だと思っています。『北運河及び周辺地域観光戦略プラン』のエピローグに我々からの大きなメッセージが書いてありますのでこれを読んでおしまいに致します。

「まずは北運河に足を運んでみませんか…そして散策路を歩きながら運河に泊まる船を眺め、運河公園のベンチに腰掛けて、旧日本郵船の建物を仰ぎ見る。小樽の原風景を残しつつ新たな光を放つ北運河エリアは訪れる人に心豊かなひとときを与えてくれる。この場所の魅力を実感する、そこから未来が始まる。」

ありがとうございました。

